

行政視察報告書

令和元年7月29日

視察委員会名	教育民生委員会		
報告書作成者	副委員長 森 美和子		
出席者氏名	委員長	副委員長	
	福沢 美由紀	森 美和子	
	委員 前田 稔	岡本 公秀	
	尾崎 邦洋	中島 雅代	
欠席者氏名	なし		
所管課職員氏名	健康福祉部長 井分 信次	随行職員氏名	議会事務局 大川 真梨子

視察日	視察先	視察目的
7月2日	東京都あきる野市	「フィルムコミッション事業」について ・事業立ち上げの経緯 ・ロケの誘致方法と実績 ・観光客の誘客実績（ロケ誘致の効果）
7月3日	神奈川県川崎市	「青少年の自立支援」について ・「川崎市子ども夢パーク」の施設見学 ・「川崎市子どもの権利に関する条例」について
7月3日	東京都三鷹市	「参加と協働」について ・協働のしくみ ・まちづくりディスカッション
7月4日	東京都日野市	「青少年の自立支援」について ・引きこもり等自立支援について

●東京都あきる野市

◆現状と取り組み

あきる野市では、市の魅力を撮りためた四季折々のPRビデオを作成してホームページで強力に発信することで、映画やテレビドラマ等のロケ地を誘致している。

撮影技術のノウハウのある職員を中心として事業展開を行っており、より効率的、効果的に事業が行われている。ロケ地を巡る観光客もあり、経済効果も期待される。また、市民の関心も高い。

2014年事業立ち上げ時は、観光部署が担当していたが、後に市長公室に変更となった。この事業を単なる観光ではなく『シティプロモーション』として位置づけたからである。

映画撮影・TV・CM・ネット配信・写真集・コスプレで写真を撮るなど、直接市にメリットが無くても、レポートや将来的な観点からすべての媒体に対して撮影許可をしていた。また、相手の要望に対して情報提供できる体制もとっている。更に、許可後には市道などの使用許可等に対して市が仲介することで事業者に安心感を与えている。

合併後15周年記念事業として、2時間映画「五日市物語」を予算約5千万円で制作して全国公開している。

また、20周年には「あきる野物語 空色の旅人」を作成している。予算は約160万円であり、制作全体の90%を市の職員で行うなど工夫していた。

◆所感

作成されたビデオは女優や子役が出演し、機材も映画作成用のものを使用している。単純に真似できるものではなく、実際、趣味の領域をはるかに超えた元職員が制作している。

だが、亀山市においても、十分に映像や画像の素材にできる自然や市の魅力があり、市民の関心を集めるといった点においてだけでも、ロケ誘致に取り組む価値は高いと思われる。しかしまずは、市内の名所などの情報発信、市の施設などの使用許可や撮影に関することの支援窓口の一元化、簡略化等の整備をし、実績を積み上げていくことが必要と思われる。

また、フィルムコミッションに限らず、市職員の特技、趣味等から全市を巻き込んで事業を起こしていくという手法は興味深い。



東京都あきる野市にて

●神奈川県川崎市

◆現状と取り組み

「川崎市子どもの権利条例」は、様々な子どもを取り巻く事件が多発する情勢があり、子どもを守るとの思いで、多くの市民や子どもたちと共に約2年間で200回を超える議論を経て作られた。当初積極的でなかった議員も最終的には納得し、全会一致での制定となった。

条例の具現化として設置された「川崎市子ども夢パーク」は、工場跡地を活用した約1万平米の敷地に、全天候広場“たいよう”、乳幼児と障がい者優先の部屋“ゆるり”、交流スペース“ごろり”、バンドや楽器の練習場所スタジオA・B、広大な遊び場プレーパークがある。

「フリースペースえん」は公設民営のフリースペースで、学校以外の学びの場、育つ場、居場所である。プログラムもなく、子どもたちが自分たちで決めており、当たり前の暮らしを大切にしているので、毎日ご飯を作って一緒に食べる。作っていると、子どもたちがそばに来たり、手伝ったりしながら本音をぽつりぽつりと話し出すので、「ながら相談」ができる。

「ありのままの自分でいられる場」「つくり続けていく場」「自分の責任で自由に遊ぶ場」「子どもたちが動かす場」「多様に育ち学ぶ子どもの場」が展開されており、子どもたちの育ちの場を大事にしたいメッセージが随所に現れていた。

プレーパークは、広大な敷地に子どもたちが自由な発想で遊べる資材が随所に設置されている。子どもの可能性を優先しており、大人主導のプログラムは禁止され、子どもたちは、自由に金づちやのこぎりを使い、火を起こす。独創性に優れた建物を自分たちで作る。ルールも自分たちで作る、大人はあくまでもサポート役である。困ったときにはきちんと見守られている環境になっている。

開催される「夢パまつり」では、自分たちでつくった屋台で、品物を販売し、収益に対する税金の使い道などを子どもたちで考える。

遊びの中でコミュニケーション能力や助け合い、危機意識などを醸成できる。

◆所感

「川崎市子どもの権利条例」は、子どもの権利について子どももおとなも共通に理解しよう、そしてこどもを一人の人間（権利の主体）として尊重し、権利侵害から守り、自分らしく生きていくことを支えていこうという思いで作られていた。

所長がものすごいキーパーソンではあるが、市民の思いがあり、市民で話し合いを重ねた時間があるから条例ができた。条例ができたから、具現化する公園やフリースペースができた。同じ思いの市民が核となり活動し続けており、条例もあるから市長が変わることがあってもぶれずに子どもたちを守り続けていけると思う。

「自分の責任で自由に遊ぶ」を合い言葉に、自分の限界にも挑戦でき、時にはケガもするけれど、だから身につくこともあるという考え方に賛同した。

毎日友達と朝から晩まで川で泳いだり、木に登ったり、基地を作ったりしていた頃を思い出すほど、「川崎市子ども夢パーク」には我々が子どもの頃遊んだ原風景そのものが展開されていた。

子どもが主役といっても、つい、いらぬ手を出してしまうものだが、子どもにとって何が大切かをしっかり議論した上でできた公園なのだと思います。

失敗しても大丈夫であることや、子育てを楽しむことなど、言葉だけでなく体験を通した啓発の仕方もあるのではないかと。「川崎市子ども夢パーク」ではそのことを再認識した。

自然豊かな亀山市で、緩やかな子育てができる環境づくりを考えていくことも必要ではないのかと感じた。



神奈川県川崎市にて

●東京都三鷹市

◆現状と取り組み

三鷹市では7つのコミュニティセンターで7つの住民協議会が地域組織として存在し、それぞれの部会で取り組みを行っている。

転入・転出が多く、新旧の住民の交流が必要であったことから、コミュニティ行政が活発で、市の出先機関ではなく、住民自身が管理運営しているという背景がある。

市との協働事業、市民参加の取り組みも活発で、市民参加型のワークショップで具現化した事業も多数ある。また、総合計画も白紙段階から市民参加で行っている。公募による登録メンバー375名が、市民参加組織として「パートナーシップ協定」を締結して提言書を提出した。

さらに民学産公による協働のまちづくりも展開されている。

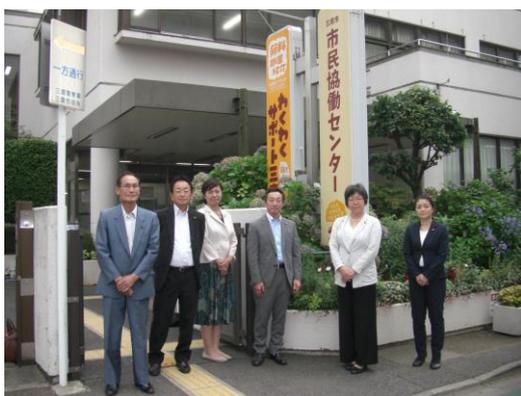
協働の拠点である協働センターを見学させてもらったが、印刷製本する機械がたくさんあり、スペースもゆったりしている。また、市民にやさしい料金設定となっている。

◆所感

住民要求の結果、住民協議会の事務局長は市職員のOBになることにしているとのことで、ここは見習うべきである。

まちづくりディスカッションについて、市が提案する素案を検討するのではなく、一から意見を出し合って報告書を提出し、市はそれに対して回答する。市と市民がやらされる感じではなく、信頼しあっている感じがして素晴らしい。市民の公募については無作為抽出方式とのことで、これもいやなら断ることもできるので、やってみる価値はあると思った。

当市でも協働のまちづくりを行っているが、非常に先進的で勉強になった。



東京都三鷹市にて

●東京都日野市

◆現状と取り組み

平成20年度の主要事業に「格差是正」を掲げ、生活保護や福祉制度の狭間の方に対する「あんしん生活総合窓口」として「セーフティネットコールセンター」を開設している。平成23年には「ひとり親相談」を、平成27年には、生活困窮者自立支援法施行に伴い「自立支援」も追加され、福祉の初期総合相談窓口として機能している。

「ひきこもり対策支援事業」については、個別相談、出張個別相談、家族の集い、セミナー等を市外在住者も対象として、定期的に行っている。セミナーは元当事者の話を聞いたり、DVDを上映したりして、当事者だけでなく、興味のある人を対象としている。

当事者に対しては、貧困に陥る前に、人間関係を作り、支援につながるように、アウトリーチも活用している。

相談窓口は一元化され、相談会やセミナーなど、相談機会を増やすことで、支援が体系化されている印象であった。

◆所感

年代別の相談窓口について一覧表を作成しており、利用者目線に立った運用をされているようで参考になった。

なかなか相談につながっていかない方をどのように相談窓口につなげていくかに関しては、相談があって動くという「待ち」の状況であり、今後の課題であるとのことだが、集いやセミナーなどは、市外の方も巻き込んだものとなっており、参考になった。

教育委員会との連携は、亀山市のように個別対応をしているが、卒業後や中退・離職後の対応などはされておらず、課題であると感じた。

今後は、町田市を参考に実態調査を検討しているということなので、参考にしたい。



東京都日野市にて